

政府9省へ45項目の要求で交渉

介護保障制度の確立を要求

5月23日、坂口多美子比例候補を先頭に県議団と中村あさと市議をはじめ地方議員団総勢12名で政府要望に行つて参りました。衆議院第1議員会館の会議室において環境省・経済産業省・国交省・農水省・厚生省・防衛省・文科省・財務省・総務省の9つの省の各大臣宛に45項目の要望を届けました。終日、宮本たけし衆議院議員がいっしょに参加して下さり、当局とのやりとりのおとおししてくれました。とても心強く感じ、くらしをよくしていくためには、もっと！もつと！多くの国会議員をつくつて

ゆきたいとさらに思いを強くしました。懇談では私は介護保険の改善について発言しました。和歌山県は65歳以上の人口割合は全国5位という状況です。1世帯に占める一人暮らしの老人世帯割合が全国3位という事です。高齢者が安心して住み続けるために、地方自治体における高齢者施策の充実は欠かせません。しかし政府は自治体の後押しをするのではなく、要支援者への訪問介護やデイサービスを紹介保険給付からはずし市町村に責任を押し付けています。介護給付に戻すか、国庫補助による支援制度をつくるよう求めました。

また、県内の平均介護保険料は6243円で全国で2番目に高い保険料となつています。サービスを利用すれば保険料が上がるという仕組みの欠陥を示しています。県でさえ、国庫負

担率の引き上げを要望しています。日本共産党は税金の使い方を社会保障を最優先にし、くらし最優先にすべきと主張しています。私は介護保険制度ではなく介護保障制度を確立させ、だれもが安心して老後を過ごせるようにすべきだと考えています。このことも政府に求めてきました。

みなさん、格差をただし、公正な社会を実現させる絶好の機会がやってきました。

まずは参議院選挙勝利のために日本共産党へみなさんのご支援よろしくお願いします。(奥村のり子)



参院選勝利を！！女性後援会の宣伝行動です（5月22日）

県会議員 奥村のり子 の 読者ニュース

2016年5月29日 第221号
 奥村のり子生活相談所
 〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
 ☎ & FAX 073-427-7121
 Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



読者の皆さんに資料渡しし 協力のお願いをしています

6月1日は通常国会閉会日。アベ政権は衆参ダブル選挙とするか、消費税10%増はどうするかそれまでに確定するでしょう。そんな情勢の中、また沖縄で米兵による20歳女性の殺害・遺棄という事件に身体が震える怒りを感じています。沖縄が復帰した1972年以降6千件近い米兵等による事件があり、その約1割は殺人などの凶悪犯罪です。いくら抗議しても「再発防止」「綱紀粛正」というだけで事件は減らず、もはや「全基地廃止」が必要とす。

基地問題も含め7月の参院選は重要です。ダブル選挙となれば何倍も大事です。先週投票の御坊市長選挙は自民党二階総務会長の長男が立候補。大物応援団を動員し、これまで「二階王国」と言われた御坊市で想定外の惨敗。また当初は成功するか疑問だった32の参院選1人区のほぼ全部で野党統一候補実現の見通しと言われ、何が起るか分からないのが政治の世界です。赤旗読者の皆さんに五月の集金の際に坂口多美子比例候補とゆら登信(たかのぶ)さんの宣伝物、6月5日の演説会ビデオ、支持を広げて頂く用紙などをお渡ししていると思います。何卒活用して頂き40日余に迫った投票日まであらゆるお知り合いにご支持を広げて頂きたく心よりお願いする次第です。

宣伝物がさらに必要な場合は党北部地区(432) 6222へご相談ください。(編集室)

- のり子の週刊日誌—主なもの—
- 5月27日 市駅・吉宗像前宣伝、会議、つとひ 女性後援会世話人会
 - 28日 平和行進、つとひ
 - 29日 母親大会、地域訪問、パーム前宣伝
 - 30日 議会準備、庁内訪問
 - 31日 会議
 - 6月 1日 議会準備
 - 2日 議会開会、無料法律相談

対政府交渉

こんにちは、中村あさとです。周りを見渡せばいつの間にか緑が増え夏を感じさせられます。気温も随分と上がってきました。体調には十分お気を付け下さい。

さて、5月23日に坂口多美子さんと奥村のり子さん、そして和歌山県下の地方議員のみなさんとともに、政府交渉のため東京の第一議員会館を訪ねました。まず、現地で宮本たけし衆議院議員と合流し、総務省・財務省・国土交通省・厚生労働

切実な要求を要望し議論しました

省・文部科学省・農林水産省・環境省、経済産業省、防衛省に対し、和歌山県内の様々な要求を直接届けました。要求の本身は、コミュニティバスの補助金の増額や、介護保険制度の改善、35人学級の促進、安定型産業廃棄物最終処分場の新規建設の中止及び規制の強化を求めるものなど多岐に渡りました。

各省の答弁も様々で、35人学級については課題を共通の認識として捉え改善の必要性を確認出来ましたが、議論が平行線を辿ったものや、「個別的な事案には応えられない」など明快な答弁が得られないものもありました。

今回の政府交渉は日帰りの強行日程という事もあり、懇談の時間も十分に取る事が出来なかった印象ですが、直接、要求を届けることが出来たことは良い経験になりました。今回の経験も踏まえ、さらに要求実現に取り組んでいきたいと思っています。

党市議会議員 中村あさと

